

第31回 維持管理・環境管理専門委員会 議事録

●日時：平成30年7月20日（金）15:00～17:00

●場所：上尾市文化センター 303集会室

●資料

- ・ 資料-1. 前回の議事録
- ・ 資料-2. H30年度の維持管理活動について
- ・ 資料-3. H30年度実施予定の工事について
- ・ 資料-4. マーケットリサーチについて
- ・ 参考資料-1. 「荒川太郎右衛門地区自然再生事業 自然再生全体構想」 新旧対照表(案)
- ・ 参考資料-2. H30年度の維持管理活動・イベントスケジュール

【議事結果】

- ① 中池管理用通路の富士山が見える場所は、植生管理の方向性・目標等を検討する必要がある。委員長と事務局でたたき台を検討し、今後、委員会に提案する。
- ② 9月5日の維持管理作業は、60分間維持管理作業を行い、その後の20分で「下池試験堀削地」(H26整備)へ試験移植したハンノキ周辺に自然発生したハンノキの幼木を確認する。
- ③ 水路下流側の旧流路に近い位置のハンノキとクヌギを残す形で掘削ラインを決定する。
- ④ 水路構造は現状維持とするため、水路下流側の水路沿いのハンノキとクヌギ2本は残す。
- ⑤ 掘削予定範囲に含まれる重要種は、周辺の類似環境に移植する。
- ⑥ 掘削予定範囲に隣接する重要種と協議会注目種は、工事の影響を受けないよう配慮すること。
- ⑦ マーケットリサーチは、タイミングが重要であるため、各委員が独自にリサーチを実施し、事後報告しても良い。
- ⑧ エコプロ2018の参加日は、12月7日（金）とする。時間は10:00～14:00とする。

【主な議事内容】

●前回の議事録について

(質疑応答なし)

●H30年度の維持管理活動について

- ・ 中池管理用通路の富士山が見える場所は、再びツル性植物やオオブタクサが繁茂してきている。
 - ▶ この場所の植生管理の方向性や目標、植生管理を実施するための費用を確保する手段等を検討する必要がある。
 - ▶ 以上について、委員長と事務局でたたき台を検討し、今後、委員会に提案する。
- ・ 中池の水辺を、子供が楽しめる場にしたいが、安全面で課題がある。

- ・ 9月5日の維持管理作業は、60分間維持管理作業を行い、その後の20分で「下池試験掘削地」(H26整備)へ試験移植したハンノキ周辺に自然発生したハンノキの幼木を確認する。

●H30年度実施予定の工事について

- ・ 現地状況確認を踏まえ、H30年度工事は下記の対応をとる。
 - 水路下流側の旧流路に近い位置のハンノキとクヌギを残す形で掘削ラインを決定する。
 - 水路構造は現状維持とし、水路下流側の水路沿いのハンノキとクヌギ2本は残す。
 - 掘削予定範囲に含まれる重要種は、周辺の類似環境に移植する。
 - 掘削予定範囲に隣接する重要種と協議会注目種は、工事の影響を受けないよう配慮する。
- ・ フジカンゾウやヤブタバコが現地で新たに確認されたので、これを図に落としておくこと。
- ・ 今後、タケの拡大抑制の対策が必要になる可能性がある。
 - タケノコ取りのイベントなどを開催すると良いかもしれない。
 - 人を集めるには、食べ物があることや、お土産を持ち帰れることは有効である。
 - そのような取り組みによって、大きな収益にはならなくても、専属者の活動が維持できる程度の資金確保につながると良い。そのような知恵を持っている人を見つきたい。
 - 太郎右衛門地区は、すべての環境が希少種の生育場所というわけではないため、ある程度、自由に活動できるフィールドを選定し、活用してもらうことも良いと考えられる。

●マーケットリサーチについて

- ・ 委員会の場に限らず、アイデアがあれば委員長や事務局に連絡・相談してほしい。また、この活動はタイミングが重要であるため、各委員が独自にリサーチを実施し、事後報告しても良い。
- ・ 柔軟な発想ができる若い人たちが、太郎右衛門地区で活動してもらえると良い。その際は、ある程度、若い人たちに任せることが重要だと考えられる。また、金銭面でサポートできる体制づくりも必要かもしれない。
- ・ 川島町の町民カメラマンに、太郎右衛門地区をアピールできると良い。先行事例としては、鳩山町の「熊井の森写真学校」がある。プロカメラマンを呼び、参加者と四季のカレンダーを作成する取り組みである。
- ・ 研究者を誘致する方法も考えられる。その場合、まず中心となる研究者を誘致し、その後、他の研究者に太郎右衛門地区を研究材料として紹介して頂く形になる。
- ・ 太郎右衛門地区に関心を持って頂けそうな人・団体があれば、現地を案内する。
- ・ エコプロ2018の参加日は、12月7日(金)とする。時間は、前回と同様10:00~14:00とする。詳細は、追って周知する。

●自然再生全体構想の一部改定(案)について

- ・ 全体構想に魚類に関する記載がないのでは。
 - 目標種のリストや目標を達成するための施策において言及している。初期の全体構想

作成時には、魚類の保全・再生についても議論をした。

- ▶ 今後、確認し、意見があれば、事務局へ伝える。

●その他

- ・ 次回は、お盆明けから9月上旬ぐらいに、イベント実行委員会と合同開催の予定とする。
- ・ 川島委員が、8月24日（金）の午後、ISE2018のスペシャルセッション16で荒川太郎右衛門地区自然再生協議会に関する発表を行う。会場は、御茶ノ水の日本大学である。
- ・ 10月下旬～12月にかけて、荒川の定期横断測量を実施する予定である。測量作業に必要な草刈り等を行う時には、環境に配慮して実施する。

以上